

## 私のすすめるこの1冊

市田 克利 (教職キャリア高度化センター 教授)

### 『北里柴三郎 —感染症と闘いつづけた男—』

上山明博 (著)

北里柴三郎、あまりにも著名人なので、伝記等に触れた方も多いかと思います。私は長年の間、高等学校で理科の教鞭をとっていたにもかかわらず、恥ずかしながらテレビのクイズ番組で“ペスト菌を発見した学者”として名前が答えられる程度でした。コロナ禍で感染症がクローズアップされ、また新千円札の肖像画となるという俗っぽい動機で本書を手に入りました。ボリュームのある書ですが、史実に基づく説明に加えて、随所に関係資料が原文のまま記載されており、人物の心情、時代背景などが次々と頭に浮かび、どんどん惹き込まれていく評伝ノンフィクションです。

本書では冒頭に19世紀末香港で起きたペストのパンデミックを取り上げています。北里はペスト菌を発見し、パンデミック終息に大いに貢献しましたが、同時期にペスト菌を発見したパスツール研究所のエルサンという細菌学者がいました。そして、真の発見者は北里かエルサンかという真偽論争へ展開していきます。ここには単に真か偽かだけではなく、国内の学者との対立など裏側に潜む様々な背景が詳細に記されています。このように本書では、ペスト・コレラ・破傷風・結核・赤痢・ハンセン病などの北里の研究業績について述べるだけでなく、政治的な背景や対立組織から窮地に追い込まれても、自らの『医道論』を貫く北里の勇ましく魅力的な生きざまも語られています。北

里の『医道論』とは「国の基本は国民の健康にあり、医学の基本は人びとが健康を保てるように性命を病気から守り、病気を未然に防ぐ」ことにあり、医学を志す正義感と生涯を貫いた高潔な信念です。

また、師のロベルト・コッホをはじめ、志賀潔、秦佐八郎、野口英世など感染症研究者のみならず、森鷗外、福沢諭吉、大隈重信、原敬、渋沢栄一などこの時代に生きた著名人が次々登場し、“なるほどそうだったのか！”と思える場面も数々あります。特に森鷗外との激論、福沢諭吉との対面や、幻の「脚気菌」発見論争などはたいへん興味深いものです。さらに、現在の北里大学キャンパスや東京大学医科学研究所がなぜその場所にあるのか、慶応大学医学部の成り立ちなどを知る機会にもなりました。個人的なことですが、私が高校化学で教えていた“キップの装置”を、北里が使用している写真が掲載されていて、ひととき特別な想いを抱きました。

医学系、理科系というイメージになるかも知れませんが、深い知識もそれほど必要なく、明治・大正時代の歴史について触れることがとても興味深く、さらに一時代を生きた近代日本医学の父の勇壮な姿を思い描くことができます。

コロナ禍において、北里柴三郎の生きざまから、“病気を未然に防ぐ”ということを考えるよい機会にもなるのではないのでしょうか。



私は、通常学級に在籍している特別な支援が必要な子どもたちへの教育のうち「中学校における通級による指導担当教員の専門性」について研究しています。公立中学校（国語・通級）、不登校特化の私立中学校（国語・教育相談）、小学校・特別支援学校（SC）での勤務の経験があります。絵本の読み聞かせと子ども食堂の活動も継続しています。皆さんの学修上での悩みをお聴きして、どうすればよいかを一緒に考えていけたら嬉しいです。

障害児教育専修（特支/臨床）



学修支援員に家政学の枠がつけられたこと、とてもうれしく思います。「小学校教諭の免許をとりたけれど、家庭科の実技で困っている…。」「教育実習が不安。家庭科の教材研究、指導案作成、授業準備のやり方がわからない。」という方はいませんか。ささいなことでも、相談にきてください。

家政教育専修（家政学）

支援員からみなさんへ：Part.1  
 <掲載内容>アイコン、自己紹介、専修・  
 コース名（専門分野）  
 ※Part.2は来月号に掲載します！

**学修相談カウンター** で先輩に相談してみよう！

京教の先輩が勉強や教育実習などのお悩みに対応してくれます。ぜひ気軽にお立ち寄りください♪

【時間】授業期間の平日 2~4 限 のうち該当の時間

【場所】北館2階 ラーニング commons

※対応可能な分野や時間、その他詳細については  
 図書館ホームページ等をご確認ください。



☆☆図書館は、いつも  
 みなさんの「まなび」  
 を応援しています☆☆



私は、子どもが居場所をつくることのできる教室を目指し、大学では教育文化、大学院では主に生徒指導や学級経営に関する勉強に励んでいます。また、小学校、中学・高校の国語の免許を取得しており、特支一種も取得予定です。そして、大学院卒業後は公立小学校に勤務しますので、教員採用試験や教育実習（小学校・中学国語）の授業づくりに関するお悩みがあればぜひ気軽にお声かけください！

その他、パソコン操作や卒業論文作成に関してなど、小さなお悩みでもぜひご相談ください。一緒に考えましょう！

初任期教員養成コース（教育/臨床）



私は大学院で主権者教育について研究しています。学部では教育学を専攻していましたので、教育学や教育社会学を専門分野として、道徳教育や市民性教育について研究していました。免許は中学の社会科一種と高校の地歴公民一種、司書教諭の資格を持っています。小学校のボランティアと中学の教育実習、高校の専門実習の経験がありますので、実習関係で力になれることもあると思います。気になったことがあれば気楽にお尋ねください！

初任期教員養成コース（教育/社会）

★★ 夏季休業に伴う長期貸出について

学部生：7月27日（水）～9月27日（火）  
 院生・教職員：7月13日（水）～9月13日（火）  
 【返却期限日】10月11日（火）  
 ※卒業・修了予定者は9月9日（金）まで

★★ 日曜開館を実施します

日曜日（7月31日、8月7日）の9時から17時まで開館します。試験勉強などにぜひ！

★★ ブックレポート展示コーナー

テーマは「真面目に勉強」はカッコ悪くない！一歩先を行きたい京教生のためのおすすめ本！

必修科目「教育の理念と歴史」（神代准教授担当分）との協働企画として、受講生が選んだ図書館の本と、内容やおすすめポイントをまとめたブックレポートをセットにして館内に展示します。学生目線で選ばれた本と、力作のレポートをぜひご覧ください！

【展示場所】1階渡り廊下  
 【展示期間】7月～8月展示予定

京都教育大学  
それはかなう夢講座

「先生になりたいーそれはかなう夢」は、京都教育大学のシンボルフレーズです。「それはかなう夢講座」では、本学の教職員が、学部、大学院のすべての専攻、研究科の学生や教職員の皆さんを対象に、科学の魅力をわかりやすくお伝えしていきます。特に、小学校の先生になりたいと思っている学生の皆さんのご参加をお待ちしています。

第32回のお知らせ

【日時】7月中旬YouTube公開予定

【場所】今回はYouTube公開のみです

【講師】荻野雄（社会科学科 教授）

【テーマ】二つの民主主義

＜概要＞第二次世界大戦後、日本は民主主義の国になりました。おそらく私たちのほとんどが、民主主義こそもっとも優れた政治の仕組みだと評価しているはず。けれども改めて考えると、民主主義とはいったいどのような政治の仕組みなのでしょう？ごく小さな組織の場合には、民主主義とは一人の人間や少数の人間が決めるのではなく、全員が話し合って全員で、ときには多数決で決めることだと言えるかもしれません。では国の場合でも、このような民主主義をめざすべきなのでしょう？近年世界の国々では、強いリーダーシップが必要なさまざまな問題が生じています。リーダーシップと民主主義とは、どのように関係するのでしょうか？

リンカーンは民主主義を、「人民の人民による人民のための政府」と説明しました。日本国憲法の基礎でもあるこの有名な説明を手がかりに、国の民主主義について考えてみます。

主催：「現代的ニーズを踏まえた「理系」教員養成のためのカリキュラム開発」プロジェクト委員会  
後援：京都教育大学同窓会・京都教育大学附属図書館



★ ★ 保育士試験対策コーナー

保育士試験に関連する絵本・紙芝居を集めました！

【期間】6月3日（金）～7月2日（土）

【場所】南館1階 児童書コーナー

「ももたろう」、「3びきのこぶた」、「おおきなかぶ」、「3びきのやぎのらがらどん」



★ ★ eBook（電子書籍）の試読について

以下の内容でeBook（電子書籍）が試し読みできます。図書館で購入していないタイトルでも中身を見ることができ、この機会にぜひご利用ください。

KinoDen（紀伊國屋書店）

2022年6月20日（月）～8月19日（金）

和書を中心に約4万冊、5分間の試し読みができます。

EBSCO eBook（EBSCO）

2022年6月20日（月）～9月19日（月）

洋書を中心に約22万冊を閲覧できます。

★ ★ 企画展示室

【報告】KITE 作品展（Keeping In The Eyes）

6月10日（金）～22日（水）まで、サークルのイラスト作品展が開催されました。



【告知】美術領域一回 展示

7月14日（木）～27日（水）まで、開催されます。

児童書コーナー（南館1階）



※児童書コーナーにかわいいカードが飾られていますので、ぜひ見に来てください。

今月の絵本カード（学生作）



『ねむいねむいねずみのうみのぼうけん』  
作・絵：ささき まき 出版社：PHP 研究所

★ ★ リクエストと投票で話題の本を読もう

皆さんの投票で購入する本を決定するリクエスト企画です！リクエストや投票にぜひ参加してください！

7月の投票期間は7月1日（金）～7月16日（土）

教育資料館 まなびの森ミュージアム

【7月の開館日時】

4日（月）、11日（月）、18日（月・祝）、25日（月）  
14:00～17:00

今月の逸品（6・7月）

『コッ kop』  
タイ（東南アジア）

展示場所：図書館



教育資料館 まなびの森ミュージアム  
<https://www.kyokyo-u.ac.jp/museum/>

## 論のくちび理のむすび

今回の執筆者 **植山 俊宏** (国文学科 教授)

### 「中学生の意見文を成立させる条件に関する研究 —「京都府教育委員会小論文グランプリ」入賞作品の「首尾」の検討を通して—

植山 俊宏・小野田 磨柚

京都教育大学紀要 2022, No. 140, pp. 103-120.

URI: <http://hdl.handle.net/20.500.12176/9682>

私たちは、文章を書くとき、それも論理的な文章を書く際は、論理がうまく通ること、論理を適切に補強できる事例、数字などの根拠が盛り込めること、そして予定していた結論が導き出せることなどを望みます。そのため、さまざまなメモ(構想メモ)や展開図(マッピングなど)を準備したりします。

近代の文章表現指導(通称は作文指導)が始まって以来、多くの実践的な知見が蓄えられ、応用され、論理的な文章を成立させる条件として確立されてきました。それに、実際の文章表現の技法も条件に加えられてきました。効果的な題名付け、読み手を引きつける書き出しの文、適切で効果的な段落分けなどです。1990年以降、これらを盛り込んで日本の文章表現指導は急速に進展してきました。

これらのさまざまな実践知としての条件は、ほぼ文章の局部に使用され、効果を発揮するようになっています。しかし文章全体に関わる条件の開発はまだ不十分です。よく使われる指導言に「すじみちが通るように書け」がありますが、単に激励に過ぎず、効果はほとんどありません。このすじみちに関わる一つの効果的な方法として「首尾の呼応」が挙げられます。読み手にとってははじまりと終わりがびたりと対応していると受け取られるように論理を構成し、印象付ける手法です。

この研究は、この「首尾の呼応」という条件について、これまで国語教育学上どのように捉えられてきたかを整理したうえで、中学生の「優秀な作品」(小論文コンクール上位入賞作品)を分析し、その成立の様相をとらえたものです。残念ながらというか、予想通りというか、30パーセントは不完全な結果を示していました。この調査研究を足場によりよく論理的な文章を成立させるための条件とその要因を解明していきたいと考えています。

※本タイトルの論文は京都教育大学紀要 140号に掲載されています。

※京都教育大学リポジトリ「クエリ(KUERe)の森」<https://ir.kyokyo-u.ac.jp/>に掲載されています。

### 開館日程 □9:00-21:00 ■9:00-17:00 ■休館(CLOSED)

2022年7月						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

7/6 館内整理日

7/30 大学院入試(学外者利用不可)

2022年8月						
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

8/3-8/9 前期末試験

8/10-9/30 夏季休業

8/12-8/15 夏季一斉休業

8/30-8/31 図書館システム更新

※開館日程につきましては、変更となる場合がございますのでホームページをご確認ください。

●京都教育大学附属図書館ホームページ

<https://www.kyokyo-u.ac.jp/library/>

●携帯版 OPAC

(QRコード→)

<https://toshokyo2.kyokyo-u.ac.jp/webopac/mobtopmnu.do>



京教図書館 News No.262 (2022年7月号)

発行日: 2022年7月1日

編集発行: 京都教育大学附属図書館

問い合わせ先: [library@kyokyo-u.ac.jp](mailto:library@kyokyo-u.ac.jp)